巻頭言

心理臨床と科学の融合

心理臨床センター副センター長　武　藤　　崇

本学術雑誌『心理臨床科学』も第４巻を迎え，その独自性も少しずつ明確にされてきたのではないかと考えております。そもそも本誌を発刊するにあたり，いわゆる心理臨床センターの事業報告ではなく，心理臨床にかかわる科学的な基礎研究およびそのような研究の展望，あるいは科学的な事例研究をより多く掲載することを本誌の基本コンセプトに据えました（そのため，巻頭言や企画・事業報告以外の論文は，すべてピアレビューを行っております)。つまり，本誌のタイトルが明示しているように，心理臨床と科学との実質的な融合を目指し，サイエンティスト・プラクティショナーとしてどのような独自な専門性を発揮できるのかを考えながら，日々の業務や研鑽に真摯に取り組むことをミッションとしております。

では，この第４巻のクオリティはいかがでしょうか。是非，すべての論文にお目通しいただき，忌憚のないご意見をお聞かせくださいますと幸いに存じます。